

原作 舞脚色者
監督者
撮影者
主演者
紹介
平八郎と云ふおよそ日本の映画俳優中で一番
丈の高い男、總身に智慧が廻り籠れてゐるこの
魅惑なる怪物すチビの小宮一晃が砂田駒子の
渺かを取り勿れ茶番式の頗る珍奇でテン
ポの甚じしく滑稽漫な笑の種薄な
要するこつい喜劇である。毎度乍ら富澤選郎の
全然狂氣のない無い論行には「困つたものである。腰懶
も張り弱いものではないからしら、「イタ」についた輕快な
物語であるのではないかしら、
洋装で歓喜と道を行く砂田駒子にせめてもの期
らかさを見出すのみ。砂田駒子にせめてもの期
興行價値はやうだるい笑で(はあるが、添物の喜劇
として使はれやう。(四月十五日 常盤座)